身体障害者診断書・意見書　(呼吸器機能障害用)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 年　　月　　日生 | 男・女 |
| 住所　大阪府寝屋川市 |
| 1. 障害名　(部位を明記)　　　　　　　　　　　呼吸機能障害
 |  | 　 |
| 52001 |
| 52003 |
| 52004 |
| 　 |
| ② | 原因となった疾病・外傷名 | 　 |  交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災自然災害、疾病、先天性、その他(　　　)  |
| 　 |  | 　 | 　 | 　 |
| ③　疾病・外傷発生年月日 |  | 　　年　　月　　日・場所 |
| ④　参考となる経過・現症(エックス線写真及び検査所見を含む。) |
| 障害固定又は障害確定(推定) |  | 　　年　　月　　日 |
| ⑤　総合所見 |
| 将来再認定　要（重度化・重度化）不要再認定年月　　 　　年　　月 |
| ⑥　その他の参考となる合併症状 |
| 　上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。　　　 　　　年　　　月　　　日　　　　　　　勤務先　　　　　　　(所在地・名称・電話番号)　　　身体障害者福祉法　　　　　　　診療担当科名　　　　　　　科　第15条指定医師氏名　　　　　　　　　　 |
| 　身体障害者福祉法第15条第3項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕　　　障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に　　　　　　　・該当する　　　　(　　級相当)　　　　　　　・該当しない |

〔注意〕　1．　障害名には現在起っている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳血管障害、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。

　　　 　　2．　障害区分や等級決定のため、改めて診断内容についてお問い合せする場合があります。

|  |
| --- |
| (該当するものを○でかこむこと。)1. 身　体　計　測

　　　身　長　　　　　　　㎝　　　体　重　　　　　　㎏　2．活動能力の程度　　ア　激しい運動をした時だけ息切れがある。　　イ　平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。　　ウ　息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道　　　を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。　　エ　平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。　　オ　息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れが　　　ある。　3．胸部エックス線写真所見　( 　　年　　月　　日)　　ア　胸膜癒着(　無・軽度・中等度・高度　)　　イ　気腫化(　無・軽度・中等度・高度　)　　ウ　腺維化(　無・軽度・中等度・高度　)　　エ　不透明肺(　無・軽度・中等度・高度　)　　オ　胸郭変形(　無・軽度・中等度・高度　)　　カ　心・縦隔の変形(　無・軽度・中等度・高度　) |
| 　　　　　　　 |

|  |
| --- |
| 　4．換気機能( 　　　年　　　月　　　日)　　ア　予測肺活量　　＿＿．＿＿＿　L　（実測肺活量　　　＿＿．＿＿＿　L）　　イ　1秒量　　＿＿．＿＿＿　L　（実測努力肺活量　＿＿．＿＿＿　L）　　ウ　予測肺活量1秒率　　　＿＿＿＿．＿％　(＝×100)　　　　(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)　　　肺活量予測式（L）　　男性 0.045×身長(cm)－0.023×年齢(歳)－2.258　　女性 0.032×身長(cm)－0.018×年齢(歳)－1.178　 　（予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例　 　には使用しないこと。）　5．動脈血ガス　( 　　　年　　　月　　　日)　　ア　O2分圧：　　　　　　　　・　　　　Torr　　イ　CO2分圧：　　　　　　　　・　　　　Torr　　ウ　pH：　　　　・　　　　　　　　エ　採血より分析までに時間を要した場合：＿＿＿時間＿＿＿分　　オ　耳朶血を用いた場合：〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕　6．動脈血ガスの測定条件　　ア　O2の吸入流量又は濃度　　　　　流量　　　　　　　l/分　　　　　濃度　　　　　　　パーセント　　イ　運動付加後又は安静時の別(いずれかを○でかこむ。)　　　　　　運動付加後・安静時　7．その他の臨床所見 |